

# 労働の科学

*Digest of Science of Labour*

2 0 1 9  
*September*  
Vol. 74, No. 9



特集

## 予防に生かす労働災害統計のあり方

労働災害防止計画に労働災害統計を活かす試み／松田文子  
経済情勢等が労働災害発生動向に及ぼす影響を経済統計から考える／池上 徹  
労働市場構造を反映した労働災害統計と労災予防ワケルールの形成／石井まこと  
ジェンダー配慮型労働災害統計データの整備／榎原 毅 労働災害統計データの課題／余村朋樹  
産業別労働災害データと事故予防・防止活動における労働組合の役割／浜田紀子  
災害復興現場で働く自治体職員のメンタル不調に関する調査・統計と災害防止対策／細川 潔

巻頭言

労働災害防止計画などへの  
疑問と私見  
永田久雄

連載

産業保健の仕事に  
携わって⑭最終回  
熊谷信二

# 労働の科学

2019  
September  
Vol.74, No.9

巻頭言

俯瞰 (ふかん)

## 労働災害防止計画などへの疑問と私見

永田 久雄 [大原記念労働科学研究所]

1

表紙：「ひとだま」 深沢 軍治  
綿布に油彩，910mm×730mm(30号F)，2018年  
表紙デザイン：大西 文子



## 予防に生かす 労働災害統計のあり方

### 労働災害防止計画に労働災害統計を活かす試み

..... [大原記念労働科学研究所] 松田 文子 ..... 4

### 経済情勢等が労働災害発生動向に及ぼす影響を経済統計から考える

..... [大原記念労働科学研究所] 池上 徹 ..... 8

### 労働市場構造を反映した労働災害統計と労災予防ワークルールの形成

..... [大分大学経済学部] 石井 まこと ..... 14

### ジェンダー配慮型労働災害統計データの整備

人間工学からの提言

..... [名古屋市立大学大学院] 榎原 毅 ..... 20

### 労働災害統計データの課題

効果的な安全衛生施策の立案のために

..... [大原記念労働科学研究所] 余村 朋樹 ..... 24

### 産業別労働災害データと事故予防・防止活動における労働組合の役割

..... [全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟] 浜田 紀子 ..... 29

### 災害復興現場で働く自治体職員のメンタル不調に関する

調査・統計と災害防止対策

..... [自治労法律相談所] 細川 潔 ..... 34

**Graphic**

ディーセント・ワークを目指す職場 9 [見る・活動] (104) 亜細亜印刷株式会社.....	口絵
--	----

**Series**

共生のための思想と実践 大原總一郎の場合(2).....	兼田 麗子 .....38
産業保健の仕事に携わって (14) 最終回 これまでを振り返って.....	熊谷 信二 .....44
凡夫の安全衛生記 (33) 「海外で感じる」見聞きした安全衛生管理 .....	福成 雄三 .....50
労研アーカイブを読む (45) リスクテイキング行動に関する4つの因子 .....	椎名 和仁 .....52

**Column**

BOOKS 『プレゼンティーズム その意義と研究のすすめ』 急務となっているプレゼンティーズム研究の背景と方法論.....	相澤 好治 .....56
『ウェブ調査の科学 調査計画から分析まで』 信頼あるウェブ調査のための必読書.....	岸田 孝弥 .....57
Talk to Talk 新聞記事.....	肝付 邦憲 .....58
Information.....	60
労働科学のページ.....	61
次号予定・編集雑記.....	64

# 労働災害防止計画などへの疑問と私見

永田 久雄

変容分析などに基づく合理的な方法で労働災害防止計画の策定が望まれるが、本計画に関して、筆者が抱き続けている疑問と私見を述べる。

## 【目標達成のための戦略の欠如】

「転倒災害」などが2000年頃から年々増加し、2005年以降は「転倒災害」が死傷災害のトップを占めるようになった。しかし、第10次労働災害防止計画、第11次防においては「転倒災害」に関する記述が全く見当たらない。第12次防や第13次防で「転倒災害」が取り上げられているが、横並び的な記述がなされている。しかし、本計画が労働災害の減少を目的とするならば、多発する労働災害防止を優先し戦略的な視点から計画策定がなされるべきではないだろうか。

## 【過大な計画目標値】

産業構造の変容にともない、2000年頃から死傷者数の減少傾向が鈍化していたが、第10次防では、第9次防の計画目標値をそのまま踏襲し「20%減以上」とした。結果は未達成となり僅か「3.6%減」である。第11次防においても「15.3%減以上」としたが、達成率は「1.5%減」である。第12次防においても、「15%減以上」としたが、増加に転じ「0.7%増」である。第13次防で「5%減以上」と大幅に下方修正された。

計画目標値と達成率に大きな乖離があるにもかかわらず、長年にわたり過大な計画目標値を設定してきた。このことから、計画の達成状況の評価・分析そして

次期計画への反映が十分になされていたとはいえない。

## 【通勤災害の増加】

通勤災害は労災件数に含まれていないが、労働者災害補償保険事業年報によれば通勤災害が増加する傾向が見られる。特に、高齢労働者が多いビルメンテナンズ業で高い割合を示しており、労働力の高齢化と関連していると推測される。通勤災害に関する災害実態の把握と労働防止計画の策定が求められる。

## 【労災データベースの公開】

経済情勢、産業構造、労働力などの変容が労働に与える影響を分析し、達成度の高い労働防止計画の策定が望まれる。そのためには、最新の労災データが必須である。しかし、数年前の古い労災データ(全体の約1/4)が公開されているが、性別などに関するデータは除かれている。女性の労働防止計画の策定のためにも最新の労災データベースをそのまま速やかに公開すべきではないだろうか。

## 【二つの異なる死傷者数】

「死傷者数」が2011年まで二つ存在していた。すなわち、現在、使用されている休業4日以上の労働者死傷病報告に基づく死傷者数(以下「死傷者数(報告)」とする)と、2011年まで公式に使用されていた労災保険給付データ及び労働者死傷病報告(労災非適用事業を含む)に基づく「死傷者数」(以下、死傷者数(非適))である。

1998年までは「死傷者数(非適)」



ながた ひさお  
公益財団法人 大原記念労働科学研究  
所 客員研究員  
主な著作…  
・「転び事故の予防科学」(単著) 労働調査会、2010年  
・「Fall Prevention and Protection」(共著) CRC Press、2017年

が「死傷者数(報告)」より規則的に常に1%ほど僅かに多かったが、1999〜2011年までの13年間に限り「死傷者数(非適)」が「死傷者数(報告)」より3〜11%の範囲で少ない。最大となるのが2006年で、死傷者数(非適)「121,378件」に対して、死傷者数(報告)「134,298件」となり、その差は「12,920件」である。

1999年から死傷者数の減少傾向が鈍化した時期に、この齟齬が生じ始めている。また、労災給付データおよび死傷病報告からどのようにして「死傷者数(非適)」を求めたのか説明がなされていない。このことから、「死傷者数(非適)」への疑問を払拭するためにも、不自然な齟齬と、2012年から「死傷者数(報告)」へ変更した理由を釈明すべきではないだろうか。



俯瞰 ぶんかん